

臨床研究に関する情報公開について

研究課題名	児童思春期精神科病棟における入院治療を通じた初発摂食障害患児の心理的側面の特徴と変化について—バウムテスト・エゴグラム・EATを中心にして—
研究機関の名称	自治医科大学とちぎ子ども医療センター 子どもの心の診療科
研究責任者の氏名	田所 まり子
研究対象	2020年4月1日から2026年3月31日までに自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科病棟（以下、当科とする）に、摂食障害の治療のために入院した方で、入院直後と退院直前に心理検査を受けられた方を対象にします。なお、研究対象者は初めて摂食障害と診断された方で、年齢は6歳～18歳以下の方に限定します。
研究の目的及び方法	摂食障害の心理的特性についてどのような特徴があるのか、今まで個々の症例検討や心理検査を用いて研究されてきました。しかし、治療前後でどのような心理的特性があるのか、また治療を経てどのような変化があるのかという研究は十分とは言えません。当科では、2020年度から入院直後と退院直前に3つの心理検査を行い、治療に役立ててきました。そこで、今回の研究では、入院中に実施した3つの心理検査を用いて、治療前後の時点でどのような心理的特性があるのか、また治療を経験することで心理的特性にどのような変化がみられるのかを検討します。心理検査を数量的に研究し、摂食障害の治療に取り組む方の心理的特性及び治療の変化をより科学的に検討していきたいと考えています。それにより、今後の治療に役立てていきたいと考えています。
研究に用いる情報の種類	入院中の治療経過、心理検査などのデータを診療録より収集し、検討を行います。収集する項目は以下となります。 ・性別、年齢、診断名、入院期間、BMI、心理検査の結果（バウムテスト、エゴグラム、EAT26） なお、これらの情報は匿名化され、個人が特定されるような情報が漏れることはありません。患者さんの受けた心理検査そのものが公表されることはありません。
研究に用いる情報	この研究の対象となられる方で、「ご自身の診療録を除外してほしい」と望まれる方は、下記の研究責任者 までご連絡下さい。なお、拒否されても不利益を受けるようなことは一切ありません。当院では同じように最善の医療を提供いたします。提供いただいた診療記録も、それ以降はこの研究のために用いられることはありません。ただし、本研究に参加を希望しない場合において連絡をいただいた時点で、すでに研究成果が発表された場合には、研究成果を修正することはできませんのでご了承ください。
研究に関する情報公開の方法	希望がございましたら、他の研究対象者の個人情報などの保護及び研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料を閲覧または入手することができます。下記問い合わせ先までご連絡ください。
個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人を特定できないように、研究責任者が氏名等、個人を特定できる情報を新しい符号に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者が子ども医療センター内臨床心理士室において鍵のかかる保管庫で厳重に保管します。研究期間終了後、電子化されたデータについては、物理的に破壊します。紙媒体の資料はシュレッダーで破棄します。
研究期間	許可されてから2027年3月31日まで

この文書について	ここで書かれた説明文は、高校生以上の方と保護者の方向けに書かれています。この研究に関して中学生以下の方には、保護者の方からお子様にもご説明いただき、お子様または保護者の方がデータを使われたくない場合は、下記までご連絡下さい。
相談等問い合わせ先、苦情の窓口	<p>【研究責任者】 自治医科大学とちぎ子ども医療センター 子どもの心の診療科 田所まり子 所在地：栃木県下野市薬師寺 3311-1 電話番号：0285-58-7751</p> <p>苦情がある場合は、自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門（電話：0285-58-8933）で受け付けます。</p>